

1月の銅マーケットレポート及び2月の見通し(上)

橋本アルミ (株) 橋本健一郎氏



予想レンジ

LMEセツル	4300-4700ドル	傘	弱い
建値	550-620円	傘	弱い
為替	117~122円 (1か月間TTM)	傘	円高

■概況

前半は人民銀行による元買で元安が一服した事、15年の中国銅輸入が+15.2%だった事などのプラス材料もあったが、年初のサーキットブレーカー問題で上海株が3000ドル近辺まで暴落したこと、シェールガス問題に加え中国の景気後退を受けて原油が30ドル台まで下落したこと北朝鮮、初の水爆実験に成功と発表したことなどを受けてDOWN。

1月15日時点で4365.5ドル(セツル)と月初価格より336.5ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は、NY原油が一時26ドル台まで下落した事、上海総合指数が前日比96.21安の2880.48と大幅ダウン。昨年来の安値更新。売買代金も2027億円と急減。2014年12月9日以来1年1か月ぶりの安値になった事などのマイナス材料もあったが、日銀がマイナス金利を導入した事、ECBのドラギ総裁が追加の金融緩和の可能性を示唆したことから原油が30ドルに上昇したことを受けてUP。

2月3日現在、後半スタート価格から294.5ドルUPの4605ドル。建値60万円のスタートとなった。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTS)

121.25 → 122.07 (円)

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比-2.3%の76万7052台であった。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比+0.2%の23万7661台。

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比-1.3%の7万5452戸であった。

◆貿易関連指標

輸出

財務省貿易統計によると輸出は前年比で電気銅が-13.8%の2万8488t、スクラップが-28.4%の2万1247t。

輸入

輸入は電気銅が前年比+117.9%の6569t、スクラップ+18.9%の6572t

■前月の国内指標

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前年比-7.9%の6万610t

■日本電線工業会発表の出荷速報(推定)

銅電線出荷量は、前年比-2.6%の5万8400tであった。

■概況

【自動車生産】

12月の四輪車生産台数は749,693台で、前年同月の767,052台に比べて17,359台・2.3%の減少となり、2か月ぶりに前年同月を下回った。

12月の車種別生産台数と前年同月比は次のとおり。

1. 乗用車-641,058台で8,179台・1.3%の減少となり、3か月ぶりにマイナス。このうち普通車は399,772台で38,365台・10.6%の増加、小型四輪車は119,410台で10,268台・7.9%の減少、軽四輪車は121,876台で36,276台・22.9%の減少。

2. トラック-98,214台で9,063台・8.4%の減少となり、8か月連続のマイナス。このうち普通車は41,697台で7,637台・15.5%の減少、小型四輪車は25,666台で2,074台・8.8%の増加。軽四輪車は30,851台で3,500台・10.2%の減少。

3. バス-10,421台で117台・1.1%の減少となり、2か月ぶりにマイナス。このうち大型は860台で186台・17.8%の減少、小型は9,561台で69台・0.7%の増加。

12月の国内需要は369,460台で、前年同月比14.5%の減少であった。

(うち乗用車307,859台で前年同月比14.6%の減少、トラック60,485台で同14.5%の減少、バス1,116台で同34.6%の増加。)

輸出は前年同月比8.1%の増加。(実績)

【自動車販売】

1月の国内自動車販売台数(軽は除く)は23万7661台で前年比+0.2%。

3か月連続プラス

内 乗用車	+1.3%
貨物	-8.7%
バス	+32.2%

※(下)は明日以降の紙面で掲載させていただきます。